

新しい生駒市環境基本計画のスタートにあたって

市民、事業者、団体、行政が協働で策定

私たち環境基本計画策定委員会は、一般公募で選ばれた市民・事業者・団体と行政の委員で構成されております。様々な分野から、そして様々な年代による、それぞれの視点から現状の「生駒市の環境」に焦点をあてて感じたままに言葉にして、問題点を出し合いました。生駒の素晴らしい環境、気になっていること、将来是非やりたいことなど、それぞれの見方で話し合いました。その中では環境施設の見学会や自然観察会も含めて環境現状調査も実施してきました。また、平成20年9月、10月には生駒市のコミュニティ施設3か所で、中間案として市民の皆様には発表させていただき、数々の貴重なご意見を頂戴しました。更にサポーターの皆さまも加わって、10年後の、こうあったらいいな！という「環境都市、生駒の姿」を描いてみました。これまで月2回、2年間にわたり「自分たちのまちを自分たちの思いで良い環境にしていこう！」という熱意のもと、仕事が終わってから夜遅くまで意見交換を行い様々な意見をまとめてきました。

今や国際的にも「地球温暖化防止」や「自然生態系の保全」「循環型社会の構築」など様々な地球環境問題に対して環境基盤の仕組みやライフスタイルを全面的に見直して、将来に持続可能な社会へと転換することが重要になっています。話し合いの中でもやはり一人一人の生活の仕方を変えていくのが重要だという意見も聞かれました。また、環境問題を自分たちの問題としてとらえ行動する市民を増やし、自然豊かで暮らしやすいまちに転換するとともに、市民、事業者、団体、行政、学校などが協働して環境向上のための活動に取り組もうということになりました。

ここに、平成21年4月から皆さまと共に実施していくこととなります新しい「生駒市環境基本計画」は、環境基本計画策定委員会が描いた10年後の「生駒の姿」を4つの分科会、「自然環境部会」「せいかつ環境部会」「まち・みち環境部会」「エネルギー環境部会」から提案されたプロジェクト提案としてとりまとめたものです。

なお、環境にやさしい行動が実践しやすいように、より実現性の高い具体的なプロジェクトを取り上げました。市民・事業者・団体、行政などがそれぞれの特徴を活かして、豊かな自然と歴史と未来が融合したまち「いこま」をつくり上げていきましょう！

生駒市環境基本計画策定委員会